

第3回 長崎の 農業・農村写真コンテスト

入賞作品集

第3回

長崎の

農業・農村写真コンテスト

作品募集

長崎の農業・農村を多くの人に知っていただき、関心を高めていただくために、「第3回長崎の農業・農村写真コンテスト」を実施致します。心に残る農村風景や伝えたい伝統などを撮影した皆様作品をお待ちしております。

その一瞬、写真に残そう！

応募締切
8/15(日)まで
(当日消印有効)

●募集期間

平成22年4月1日(木)～8月15日(日)

●募集テーマ

農村(農村景観、農作業風景、農村の生活文化、伝統行事など)

●送り先

〒850-0057 長崎市大黒町9番17号
長崎県土地改良事業団体連合会
「長崎の農業・農村写真コンテスト係」宛

●各賞

○長崎県知事賞 1点(3万円商品券)

○水士里ネット長崎会長賞 1点(3万円商品券)

○優秀賞 3点(1万円商品券)

○入選 10点(3千円商品券)

○募集案内及びお問い合わせ先

TEL:095-823-3101

主 長崎県土地改良事業団体連合会

長崎県土地改良事業団体連合会(水士里ネット長崎) HP: <http://ntr.or.jp/>

共 長 崎 県



主 催 : 長崎県土地改良事業団体連合会
共 催 : 長 崎 県

コンテストの目的

中山間、棚田を有する農村地域の活性化を図るには、地域の農家だけでは高齢化等により困難な状況となっています。

そのため、地域の非農家や都市住民の方達に、その魅力や重要性を認識して頂くとともに、保全活動等の必要性への理解と参画をうながすことを目的とし、「第3回長崎の農業・農村写真コンテスト」を実施しました。

長崎の農業・農村の様々な表情を写しだし、広く紹介することにより、農業・農村に対する理解がますます深まっていくことを願っています。

応募要領

● 募集テーマ

「農村」農村景観、農作業風景、農村の生活文化、伝統行事など

● 募集期間

平成22年4月1日(木)～8月15日(日)(当日消印有効)

● 各 賞

長崎県知事賞	1点
水土里ネット長崎会長賞	1点
優 秀 賞	3点
入 選	10点

● 募集規定

- 長崎県内で撮影された、未発表の単写真が対象です。
- デジタル作品も応募可能ですが、画像加工した作品は応募できません。
- 作品のサイズは四切サイズ(四切、ワイド四切)及びA4サイズとします。
- 応募者本人が撮影し著作権を有している作品に限ります。
- 同一作品または類似作品が他の写真コンテストへ応募中または応募予定である場合や、他のコンテストで入選した作品の応募はできません。
- 被写体の肖像権などは応募者の責任とします。

審査内容

- 応募総数 201 作品 (84 名)
- 審査会開催日 平成 22 年 9 月 1 日 (水)

審査員

- | | |
|------------------------|-------|
| ・ 前全日本写真連盟長崎支部長 | 小柳 博康 |
| ・ 長崎県中山間地域等振興対策審査委員会委員 | 脇山 順子 |
| ・ 前鬼木棚田協議会会長 | 岩崎 義信 |
| ・ 長崎県農林部次長 | 上田 裕司 |
| ・ 長崎県土地改良事業団体連合会専務理事 | 松尾 一郎 |

お問い合わせ先

○長崎県土地改良事業団体連合会
長崎市大黒町9番17号
TEL: 095-823-3101
HP: <http://ntr.or.jp>



審査会の様子

長崎県知事賞

大豊作の笑顔

安居院 徳水（島原市）



撮影場所：南島原市南有馬町

選評

稲刈りを終えたあとの夫婦のにこやかな表情からはタイトルのとおり「大豊作」の満足感がうかがえ、二人が握っている棒からは“ 支え合っている ” というメッセージが伝わってくる。

二人の構図も良くまとまっており、背景のカラフルなコントラストも作品全体を引き立たせている。

中山間地域の農業を支える夫婦の絆が感じられ、その笑顔は見る人も幸せに感じさせてくれる作品である。

水土里ネット長崎会長賞

夕陽に染る農園

浦川ちづえ（長崎市）



撮影場所：南島原市加津佐町

選評

海に沈む夕日がマルチに反射して幻想的な光景が広がっている。マルチのラインや奥に見える地平線を含んだ構図も良く、オレンジの線を引いたような色調も美しい。

自分の目で見たいと思うような光景を美しく表現しており、このような光景を見ながら仕事ができる農家を羨ましいとも感じる。

農村のイメージアップ、土地改良のPRには最適な一枚ではないだろうか。

優 秀 賞

棚 田

／ 瀬上 久男（諫早市）



選 評

雨のあとの田植を行う家族。まるでオブジェのような棚田の曲線に沿って均一に植えられている苗の列。

右上から左下へ目を移すと、緑色の濃度が徐々に薄くなるコントラストや、左側にだけ人を配置した構図もよい。

棚田の原風景であり、農村部にはまだこんな美しい風景がある事を多くの人に知ってほしいと感じさせてくれる作品である。

撮影場所：雲仙市小浜町

昔ながら？

／ 貞包 勝（佐世保市）

選 評

タイトルのとおり「昔ながら」の脱穀の光景である。連携して作業を行う夫婦の真剣な表情をうまく捉えている。

錆びついた機械、ゴザや籠など、今では見られなくなった農作業具からは農村の歴史を感じ取ることができ、今でもこのような光景を見ることができるのだということに興味を引かれる。

撮影場所：佐世保市黒髪町



家族で田植え ／ 山口 政勝（長崎市）



選 評

田植え後の一枚。何人かは補植後の苗を手にとっており、おじいちゃんから子供まで家族一丸となり、やり遂げたという満足感が伝わってくる。

人の配置、田に差し込む光など構図が良くできており、手前の苗の緑が作品を引き立たせている。

撮影場所：東彼杵郡東彼杵町

入 選



田んぼの運動会

／ 萩尾 健 (佐世保市)

撮影場所：東彼杵郡波佐見町



新緑に包まれて

／ 山口 八郎 (諫早市)

撮影場所：東彼杵郡東彼杵町



夫婦円満

／ 木本 和義 (諫早市)

撮影場所：諫早市土師野尾町



僕も田植を手伝うよ

／ 高田 喜三郎 (島原市)

撮影場所：諫早市森山町



ひと休み

／ 森田 正巳 (長崎市)

撮影場所：長崎市神浦町

入 選



光る波紋 / 亀本 義隆 (時津町)

撮影場所：長崎市神浦町



収穫のころ / 浜口 恵美子 (長崎市)

撮影場所：諫早市森山町



お田植え初め / 尾崎 勝彦 (長崎市)

撮影場所：雲仙市千々石町



代掻き / 小山 保則 (長崎市)

撮影場所：諫早市長田町



脳裏に残る棚田の火祭り
/ 久田 重一 (佐世保市)

撮影場所：松浦市福島町



みんなで守ろう
豊かな農村環境



土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 TEL (095) 823-3101・FAX (095) 823-3102
総務部：総務課・全国土地改良大会準備室・管理指導課・水土保全対策室・技術情報課・水土里情報センター
技術部：技術課・換地課

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL (0957) 23-7645・FAX (0957) 27-0025
島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL (0957) 62-6424・FAX (0957) 65-0618
県北支所：〒857-0035 佐世保市福田町13-26 TEL (0956) 24-4611
五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL (0959) 72-5007
壱岐・対馬支所：〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町本村触509-3 TEL (0920) 47-0408・FAX (0920) 48-1011

ホームページ：<http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索 

【本誌に関するお問合せやご質問などは 水土里ネット長崎総務課までお願い致します】